

NPO 法人 ちよだの水辺を魅力ある都市空間に再生する会 主催 シンポジウム

「震災復興橋梁の現代的意義と活用」

日時	令和5年2月15日(水)	18:30~20:30 (18:00開場)
会場	千代田区立日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)	
定員	150名	参加料 一般 1,000円 千代田区民 500円 ※専門的な解説を含むため中学生以下の参加は不可

関東大震災100年を迎え、震災復興橋梁研究の専門家が千代田区内の震災復興橋梁を中心に震災復興橋梁の現代的意義と保存活用について解説します。

伊東 孝

元日本大学理工学部社会交通工学科教授/日本イコモス「技術遺産小委員会」主査
産業遺産情報センター研究主幹
専門:土木史/都市計画史/景観工学

勝鬨・永代・清洲3橋の長寿命化検討委員会委員長、常磐橋修理工事専門委員会副委員長。
「東京の橋研究会」「勝鬨橋をあげる会」代表。
37年間にわたり、釣舟による東京下町の橋めぐり・まちめぐりの解説をつとめる。



中井 祐

東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授
専門:土木デザイン論/景観論/近代土木デザイン史

埼玉県所沢出身。大学卒業後デザイン事務所で修業し、東京工業大学助手等を経て2010年4月より現職。博士(工学)。主著書に『近代日本の橋梁デザイン思想』(単著)、『風景の思想』(共編著)など。主なプロジェクトに岸公園(島根県)、ベレン地区公園図書館(コロンビア・メジン市)、竹田城下町再生(大分県)、大槌町津波復興(岩手県)など。土木デザインという視点から各地のまちづくりや公共空間整備にかかわる。



紅林 章央

(公)東京都道路整備保全公社 道路アセットマネジメント推進室長
土木学会関東支部選奨土木遺産選定委員長/元東京都建設局橋梁構造専門課長

東京都八王子市出身、昭和60年入都。
奥多摩大橋、多摩大橋をはじめ多くの橋や新交通「ゆりかもめ」、中央環状品川線などの建設に携わる。
著作に『東京の橋 100選+100』『HERO 東京をつくった土木エンジニアたちの物語』(都政新報社刊)、『100年橋梁』『歴史的鋼橋の補修・補強マニュアル』『日本の近代土木遺産』(土木学会共著)など。『橋を透して見た風景』(都政新報社刊)で、平成29年度土木学会出版文化賞を受賞。



お申し込み

右記QRにて必要事項を記入し
お申し込みください。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対策を実施していますのでご協力ください。

- 入館の際は、手指消毒・検温・マスク着用のご協力をお願いします。
 - 体調のすぐれない(発熱、咳、倦怠感など)場合は、ご来館をご遠慮ください。
- 今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

アクセス

千代田区立日比谷図書文化館

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4

- 東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩約3分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩約3分
- 東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口より徒歩約3分
- JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

